

2. UAVレーザー測量調査

※UAVとは、ドローン等の無人航空機（Unmanned aerial vehicle）を意味する。

2. UAVレーザー測量調査

2-1. UAVレーザー測量の実施概要

壕周辺の詳細な地形情報（標高データ）を取得することを目的として、ドローンを用いたレーザー測量を実施した。

UAVレーザー測量の実施概要

項目	詳細
実施日	2021年9月16日, 17日, 20日, 21日
実施時間帯	AM7:30~8:30
実施範囲	首里城を中心とした1km×1km
使用機器	Matrice600 Pro (DJI)



UAVレーザー測量にて使用したドローン



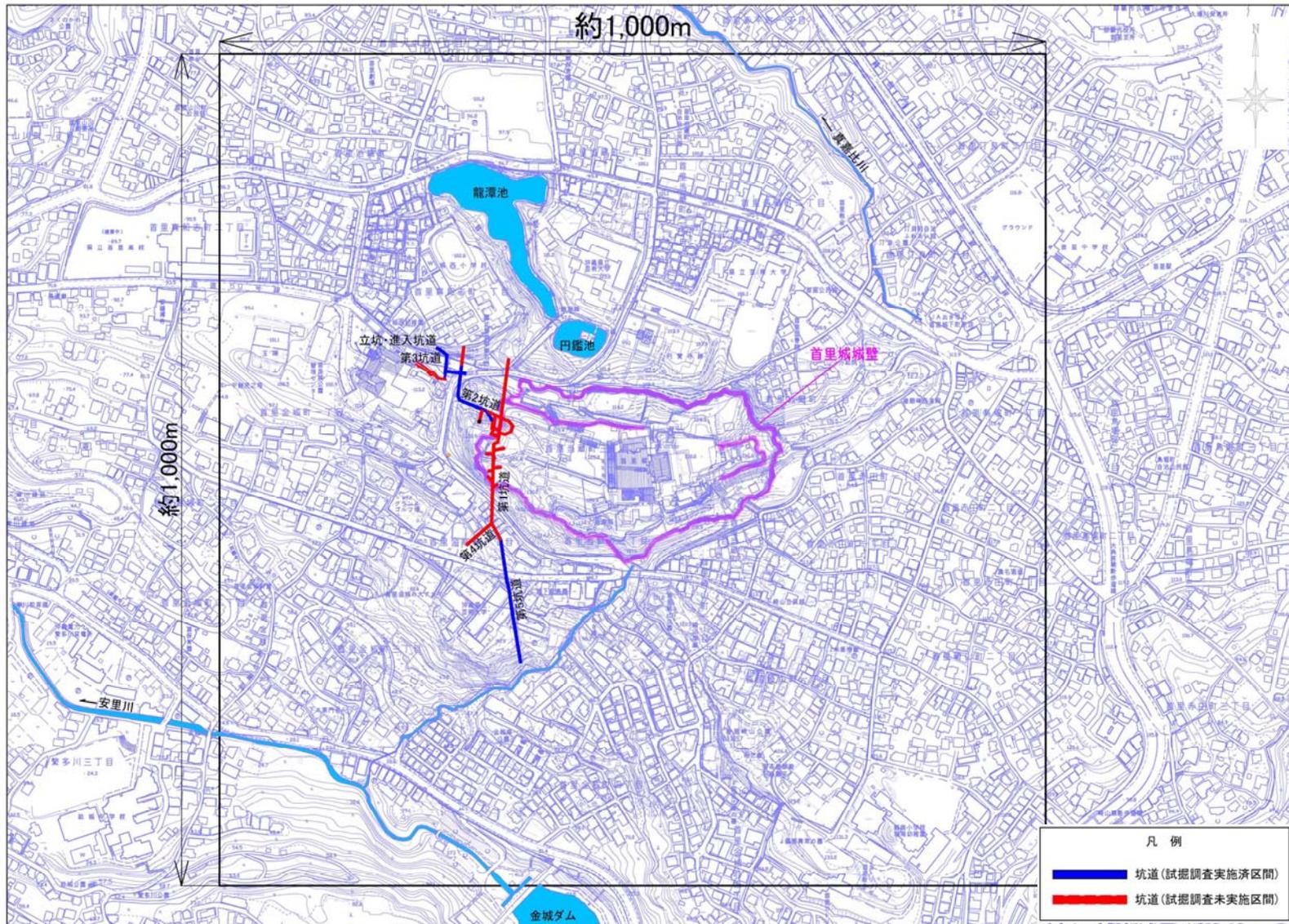
調査実施状況（ドローン飛行状況）

※UAVレーザー測量とは、ドローンに搭載したレーザスキャナから地上にレーザ光を照射し、地上から反射するレーザ光との時間差より得られる地上までの距離と、GNSS測量機、IMU(慣性計測装置)から得られる航空機の位置情報より、地上の標高や地形の形状を調べる測量方法である。

2. UAVレーザー測量調査

2-2. UAV測量実施範囲

第32軍司令部壕を含む首里城を中心とした約1km×1kmの範囲を対象として、詳細な地形情報（標高データ）を取得した。

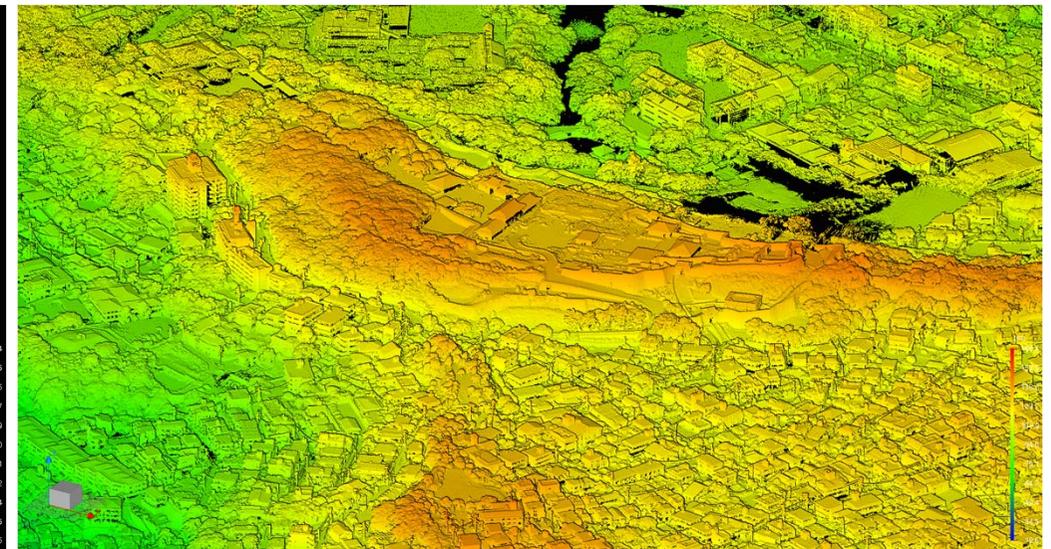
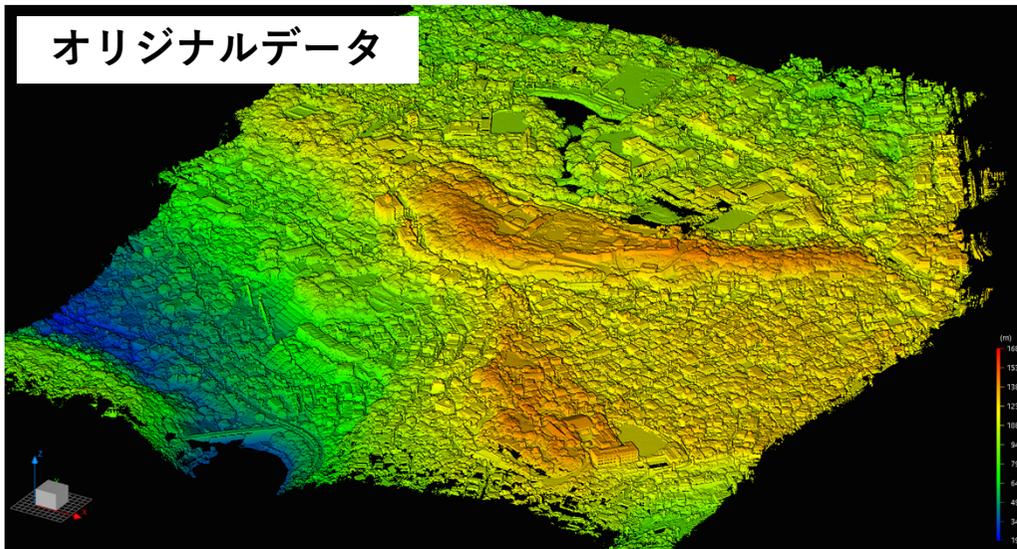


UAV測量実施範囲

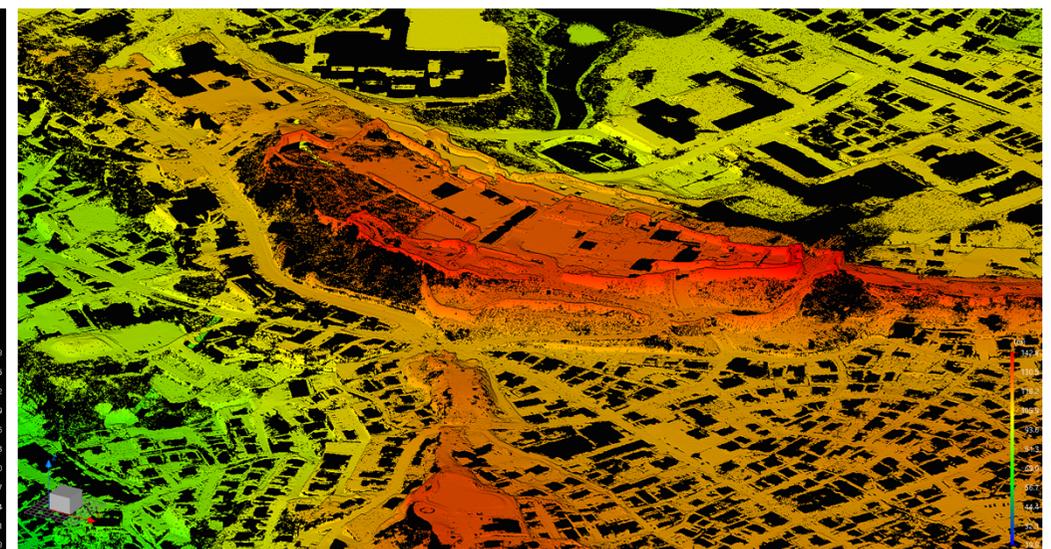
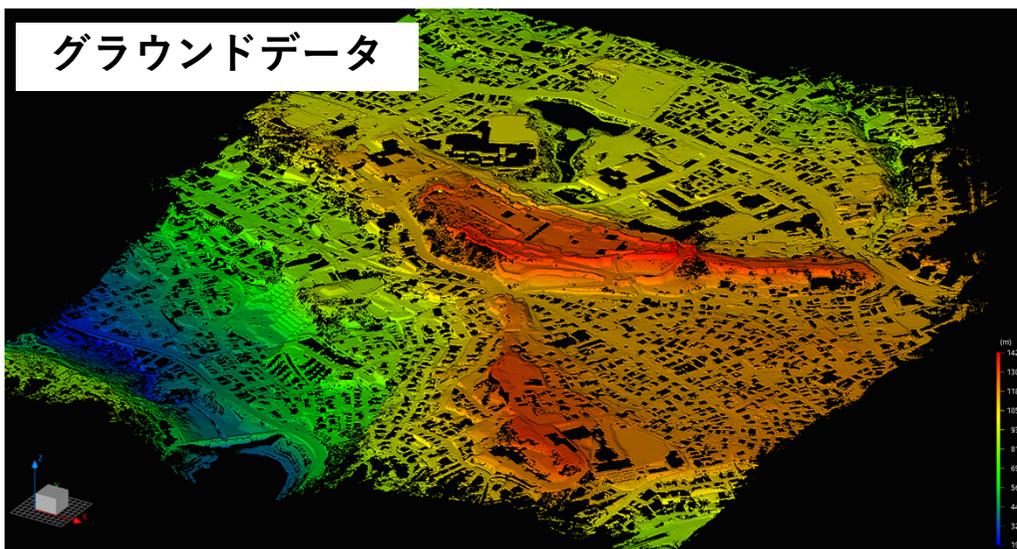
2. UAVレーザー測量調査

2-3. 首里城及び第32軍司令部壕周辺の詳細な地形状況

UAVレーザー測量調査にて取得した**三次元点群データ**を用いて、首里城及び第32軍司令部壕周辺の**詳細な地形状況**を立体鳥観図として表現した。



オリジナルデータ（建物、構造物、樹木、植生を含む地形標高データ）



グラウンドデータ（建物、構造物、樹木、植生を含まない地表面の地形標高データ）